

## 政策評価委員会の審議経過

### 平成 19 年度

#### 第 3 回

平成 19 年 11 月 27 日（火） いさご会館 第 1 ・ 第 2 会議室

- ( 1 ) これまでの委員会の取組等について
- ( 2 ) 「市民意見募集」の結果について
- ( 3 ) 今後の委員会の進め方について

#### 第 4 回

平成 20 年 3 月 26 日（水） いさご会館 第 7 会議室

- ( 1 ) 平成 18 年度施策評価結果に対する政策評価委員会の個別意見への対応について
- ( 2 ) 「施策進行管理・評価票」の検証方法等について  
（「施策進行管理・評価票」検証マニュアルの策定）
- ( 3 ) 施策評価等に関する庁内アンケートの結果について

### 平成 20 年度

#### 第 1 回

平成 20 年 7 月 3 日（木） 川崎市役所第 3 庁舎 15 階 第 1 会議室

- ( 1 ) 事務事業総点検及び施策評価の実施結果について
- ( 2 ) 施策評価の検証結果について d
- ( 3 ) 施策評価の検証結果に基づく意見集約について

#### 第 2 回

平成 20 年 7 月 25 日（金） 川崎市まちづくり公社 会議室

- ( 1 ) 平成 19 年度施策評価の検証結果について
- ( 2 ) 施策評価の改善に向けた今後の取組について

## 政策評価委員会の取組

	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度
検証対象	平成 17 年度に市が行った施策評価（255 施策課題）の 10%にあたる <b>26</b> の施策課題を無作為に抽出	検証対象事業の拡大施策評価（255 施策課題）のうち、重点戦略プラン対象事務事業を含む 118 の施策課題から 11 の再掲施策課題を除いた <b>107</b> の施策課題とした。	平成 18 年度と同じ <b>107</b> の施策課題
検証方法	8 名の委員が検証の対象となる 26 すべての施策課題を検証 チェックシートを使用	8 名の委員が検証の対象となる施策課題を 2 名ずつ分担して検証（委員長は検証対象となる施策課題すべて、他の委員は 26 ~ 27 施策課題を検証） チェックシートを使用 検証マニュアル（簡易版）	8 名の委員が検証の対象となる施策課題を 2 名ずつ分担して検証（各委員は 26 ~ 27 施策課題を検証） チェックシートを使用 検証マニュアル（充実）
委員会の改善意見を踏まえた市の対応（平成 17 年度・平成 18 年度） 委員会の取組・提言等（平成 19 度）	評価帳票の見直し 「目標」欄を新たに設けることにより、目標の記述を明確にした。 参考指標の設定 設定率を 72.9% から 82.0%（平成 19 年度末）へ改善を図った。 文体の統一 「です、ます調」にし、箇条書きを基本とした記述に改めた。 チェックシートの作成 委員が評価する際のチェックシートを作成した。	施策評価票の等の記入要領の作成 記入方法等の説明を充実させた。 施策評価の実態調査 自己評価を行った職員を対象に、アンケート調査を行い、現状の把握を行った。 新たな指標設定 総合コンタクトセンターを活用した電話アンケートを実施し、施策課題に対する市民認知度の把握を行った。 委員の個別意見への対応 各事業課にフィードバックし、具体的な対応の方向性を整理し次年度の評価票作成に反映させた。 検証マニュアル（簡易版）の作成 委員が検証の際に、共通の視点で検証できるようマニュアルを作成した。	検証マニュアルの充実 委員の評価基準を明確化するため、記載事例や留意事項を追加をし、検証マニュアルの充実を図った。 委員のチェックシートの充実 評価チェックシートの得点を 4 段階から 5 段階にするなど、チェック項目の明確化を図った。  平成 20 年度の施策評価に向けての提言 1 施策ごとに完成度が違うため、市内部の評価の仕組みの徹底・見直しが必要である。 2 19 年度に委員が評価の際に使用した評価表を所管局にフィードバックし、次年度以降の評価に活用する。 3 成果指標の見直し、及び成果の説明への活用。